

# 家庭教育支援



「いのちのはなし～うまれてきてくれてありがとう～」  
(子育て学習講座【西条市】)

|   |                          |    |
|---|--------------------------|----|
| ① | 【西条市】子育て学習講座             | 74 |
| ② | 【今治市】家庭教育学級・子育て学習講座      | 75 |
| ③ | 【上島町】家庭教育支援・子育て講座        | 76 |
| ④ | 【伊予市】伊予市家庭教育・子育てサポートグループ | 77 |
| ⑤ | 【砥部町】子育て学習支援事業           | 78 |
| ⑥ | 【久万高原町】久万高原Happyサポート     | 79 |
| ⑦ | 【大洲市】大洲子育てサポート“そよ風”      | 80 |
| ⑧ | 【西予市】せいよ家庭教育・子育て応援グループ   | 81 |
| ⑨ | 【宇和島市】宇和島市家庭教育支援チーム      | 82 |

# 子育て学習講座【西条市】

## ～学校や地域とともに築く家庭教育～

### ◆活動の目的・理念

- 小・中学生の保護者が参加する参観日や、就学前の子どもの保護者が参加する就学時健診時等において、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育支援の充実を図る。

|             |                |                |                         |            |           |      |     |
|-------------|----------------|----------------|-------------------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点        | -              | 講座・学習<br>会開催数  | 54 回                    | 相談対応<br>件数 | - 件       | 訪問活動 | - 件 |
| 広報活動        | 2 回            | 連携・協力<br>団体・機関 | 小学校25校、中学校10校、各小・中学校PTA |            |           |      |     |
| チーム<br>スタッフ | 地域コーディネーター     | 名              | 子育てサポーター・リーダー           | 名          | 民生委員・児童委員 | 名    |     |
|             | 元教職員           | 名              | PTA役員                   | 名          | 保健師       | 名    |     |
| 計 0 名       | 心理士・スクールカウンセラー | 名              | 支援団体・NPO関係者             | 名          | その他       | 名    |     |

### 取組の概要

#### <主な取組内容>

- 小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座
  - ・就学前の子どもの保護者を対象とした講座
  - ・各小学校単位で実施
- 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座
  - ・小学生の保護者を対象とした講座
  - ・各小学校単位で実施
- 中学校での参観日等を活用した子育て学習講座
  - ・中学生の保護者を対象とした講座
  - ・各中学校単位で実施



(「地球の上に生きる  
～80カ国で出会った人々～」)

#### 保護者の感想

- ・世界を巡っているからこそ分かることを伝えていただき、改めて子どもを育てることの重要性を考えることができました。(「地球の上に生きる～80カ国で出会った人々～」)
- ・子どもが誕生したときの「喜び・嬉しさ」を思い出しました。大きくなっても子どもはかわいいものですが、生まれてきてくれたこと自体が奇跡という言葉を大切に我が子とともに、親も成長していきたいと思います。(「いのちのはなし～うまれてきてくれてありがとう～」)
- ・何事にも、ポジティブに考えられる脳へ変換できれば、子どもの成長にも親の成長にも良い影響が与えられると思いました。(「心の防災訓練～メンタルヘルスケアの三つの防災グッズ～」)



(「いのちのはなし  
～うまれてきてくれてありがとう～」)

#### <特色ある取組>

##### ● スクールカウンセラーによる講座

日常的に子どもと接するスクールカウンセラーによる子育て学習講座を実施した。小学生の保護者を対象とした講座では、体を動かす時間を取ることで、児童も一緒に楽しみながら聞くことができた。中学生の保護者を対象とした講座では、自分の考えを述べたり、他者の意見を聞いたりすることで、「聴く」ことの大切さを学ぶことができた。心も体も大きく成長する思春期は、「悩んでいるのは自分だけでは」と孤独な気持ちになったり、不安を抱えたりする時期でもあり、悩みの解消方法についても真剣に考えることができた。家庭で学校生活や悩みについて話し合うきっかけとなった。



(スクールカウンセラーによる  
「心の防災訓練～メンタルヘルスケア  
の三つの防災グッズ～」)

### 事業を実施して

#### 【成果】

- 就学時健診等を活用した子育て学習講座では、小学校入学に向けて保護者の不安を和らげ、今後の子育てについて学び、他の保護者と関わる良い機会となった。教職員も保護者の気持ちや姿勢を学ぶことができた。
- 学校の実情に合わせた講師、テーマを選ぶことで、保護者や子どもが抱える不安や悩みの対処方法を学ぶことができた。子どもも一緒に参加することで、家庭での会話のきっかけづくりにもなった。

#### 【課題】

- 就学時健診や参観日、保護者会と合わせて実施することで、保護者が参加しやすいよう取り組んでいるが、まだ保護者の参加が少ない学校もある。保護者の興味のあるテーマの選択、対象学年以外の児童の参加や預かりなど、工夫が必要がある。
- 就学前健診時の子育て学習講座は、児童と一緒に参加できない。健診に携わる教職員も参加できない。

# 家庭教育学級・子育て学習講座【今治市】

～学校・PTA・地域と連携した講座の実施～

## ◆活動の目的・理念

- 児童・生徒が心身ともに健全な成長をするように、学習活動をととして家庭における成人の役割を学び、心豊かな明るい家庭環境づくりと青少年の健全育成をめざす。

|             |                |                |                                                |            |           |      |     |
|-------------|----------------|----------------|------------------------------------------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点        | 小・中学校          | 講座・学習<br>会開催数  | 72 回                                           | 相談対応<br>件数 | 0 件       | 訪問活動 | 0 件 |
| 広報活動        | 0 回            | 連携・協力<br>団体・機関 | 家庭教育学級(小学校14校、中学校6校、各学校PTA)<br>子育て学習講座(小学校12校) |            |           |      |     |
| チーム<br>スタッフ | 地域コーディネーター     | 名              | 子育てサポーター・リーダー                                  | 名          | 民生委員・児童委員 | 名    |     |
|             | 元教職員           | 名              | PTA役員                                          | 名          | 保健師       | 名    |     |
| 計 0 名       | 心理士・スクールカウンセラー | 名              | 支援団体・NPO関係者                                    | 名          | その他       | 名    |     |

## 取組の概要

### ＜主な取組内容＞

#### ● 子育て学習講座

- ・小学校の就学時健康診断の機会を活用
  - ・講師は校医、保健師、発達支援センター職員など
  - ・子どもの健康管理や身につけさせたい生活習慣、子どもとの向き合い方などについての講座
- 参加者は、睡眠、朝食、運動等の健康に関することや子どもとの向き合い方などについて聞き、日々の子育てに生かすことができるよう考えていた。

#### ● 家庭教育学級

- ・PTAの組織を通じた研修会の開催
- ・地域の特性を生かした講座
- ・最新のニーズに応える講座



(子育て学習講座)

### 参加者の感想(子育て学習講座)

- ・健康な生活を送れるように日々の習慣を見直していきたい。
- ・思春期の子どもについて聞くことができて良かった。
- ・講義だけでなく、実際に肩こり解消のストレッチをするなどでできて良かった。
- ・子育てでは、我が子の可能性を信じて、丁寧に伸ばすことが大切だとよく分かった。成長途中で失敗はつきものなので、あわてず急がず子どもを応援しようと思った。
- ・子どもの話をよく聞いて、共感できる親になろうと思った。しっかりとコミュニケーションをとり、お互いに信頼関係があれば、親の思いや願いはおのずと伝わると思った。

### ＜特色ある取組＞

#### ● 家庭教育学級

家庭教育学級では、市内小中学校PTAが地域の特性を生かし、給食の試食会や手作り雑貨教室、心肺蘇生講習会、エクササイズ等様々な講座を実施している。各PTAが工夫をこらし、参加者の交流の場ともなっている。



(ペン習字講座の様子)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 子育て学習講座では、子どもの健康管理や子育てをする上での留意点などについて、講師から指導・アドバイスを受けることができた。参加者にとって子育ての方法を見つめ直す良い機会となった。
- 家庭教育学級では、給食の試食会等の食育に関する学習から手作り雑貨教室、心肺蘇生講習会、エクササイズ等様々な実践、学習活動が行えた。この教室を通して、家庭環境づくりや参加者同士の交流が深まり、お互いが家庭の相談をしやすい環境をつくることのできた。各家庭での実践が期待される。

### 【課題】

- 平日の昼間に実施されることが多く、参加者が限定されていることから、男性の参加が難しいと思われる。学校施設を利用しているため拡充が困難でもある。
- 家庭教育学級では、実技、レクリエーションと講座を組み合わせ楽しく学ぶことができたが、家庭教育に重点を置いた幅広い研修が望まれる。

# 家庭教育支援・子育て講座【上島町】

～学びあいと交流を大切にした子育て支援～

## ◆活動の目的・理念

- 家庭教育における課題を探り、子どもの発達段階や親としての心得、子どもが抱える問題等について学習する機会をもつことで、全ての保護者が安心して家庭教育を行える環境づくりを進める。
- 家庭教育における悩みを相談し合い、情報交換できる場をつくる。

|       |                |                |               |            |           |      |     |
|-------|----------------|----------------|---------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点  | 各保健センター・各小中学校  | 講座・学習<br>会開催数  | 13 回          | 相談対応<br>件数 | － 件       | 訪問活動 | － 件 |
| 広報活動  | 13 回           | 連携・協力<br>団体・機関 | 保健センター        |            |           |      |     |
| チーム   | 地域コーディネーター     | 名              | 子育てサポーター・リーダー | 名          | 民生委員・児童委員 | 名    |     |
| スタッフ  | 元教職員           | 名              | PTA役員         | 名          | 保健師       | 名    |     |
| 計 0 名 | 心理士・スクールカウンセラー | 名              | 支援団体・NPO関係者   | 名          | その他       | 名    |     |

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ● 親子ふれあい教室

未就学児を持つ保護者に対して、家庭教育支援の教室を実施している。

- ・わくわく親子あそび
- ・親子でふれあおう～ベビーマッサージ～
- ・高校生とクリスマスお楽しみ会

#### ● 子育て講座

学校の参観日を活用し、親子で学べる講座を実施している。

- ・知っておこう！  
～思春期にある心と身体の問題～
- ・成長期の子どもについて知っておいて欲しいこと  
～身体的特性、姿勢、運動について～



(子育て講座:思春期にある心と身体の問題)



(子育て講座:成長期の子どもについて知っておいて欲しいこと)

## 保護者の感想

### 【親子ふれあい教室】

- ・初めての子育ての不安や疑問を専門職に相談できて良かった。
- ・困りごとを聞いてもらったり、アドバイスをもらったりして助かった。
- ・他の参加者と子育ての経験を共感できてほっとした。

### 【子育て講座】

- ・家でも子どもの話をゆっくり聞く時間を大切にしたいと思った。
- ・講座を受けてみて、成長期の身体について知らないことが多かった。
- ・実際に身体を動かしながら学べたのが良かった。

## <特色ある取組>

### ● 育児サロン「おひさま」に行ってみよう！

町内にある育児サロンに行って、サロンの見学や個別相談などを行った。サロンがある地区の方には馴染みがあるサロンであるが、他の地区の方は知らない人も多い。この取組は年2回実施しており、初めてサロンに行く参加者でも、2回目では今後もサロンを利用したいとの感想も聞くことができ、育児サロンの利用を推進することができた。



(おひさまに行ってみよう！)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 学校や保健センターとの連携を図ることができ、より多くの保護者に参加してもらうことができた。
- 親同士の交流の場ができ、普段の育児の悩みなどの情報交換ができた。

### 【課題】

- 保護者のニーズを把握し、課題解決につながるような講座内容を計画していきたい。
- 保護者同士のつながりをさらに深めていけるような講座の雰囲気づくりを心掛けるとともに、ここできたつながりが、さらに広がっていくよう、継続して取り組んでいきたい。

# 伊予市家庭教育・子育てサポートグループ【伊予市】

～家庭・地域での家庭教育・子育て支援を目指して～

## ◆活動の目的・理念

- 地域住民に、家庭教育や子育てに関する情報や学習の機会を提供しながら相談活動の充実を図り、ともに支え合う家庭・地域づくりを応援する。

|             |                      |                |                                                                 |            |           |      |     |
|-------------|----------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点        | 伊予市教育委員会事務局<br>社会教育課 | 講座・学習<br>会開催数  | 10 回                                                            | 相談対応<br>件数 | 10 件      | 訪問活動 | 0 件 |
| 広報活動        | 3 回                  | 連携・協力<br>団体・機関 | 市内保育所、幼稚園、認定こども園・私立児童施設、小学校、中学校、公民館、子育て支援センター、保健センター、児童館、児童センター |            |           |      |     |
| チーム<br>スタッフ | 地域コーディネーター           | 1 名            | 子育てサポーター・リーダー                                                   | 0 名        | 民生委員・児童委員 | 0 名  |     |
|             | 元教職員                 | 2 名            | PTA役員                                                           | 0 名        | 保健師       | 0 名  |     |
| 計 10 名      | 心理士・スクールカウンセラー       | 0 名            | 支援団体・NPO関係者                                                     | 0 名        | その他       | 7 名  |     |

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ● 子育て現役世代との意見交換会・学習会

親子活動や子どもへの発言・子育てで楽しかったことについて意見交換  
保護者向け絵本の読み聞かせや年代別の絵本の選び方解説



(学習会)

#### ● 家庭教育支援に関する情報発信

- (1) 家庭教育情報誌「ほのぼの」を全戸配布(年2回)

第1回:子育てに関する情報、上半期のサポートグループ活動報告

第2回:子育てに関する情報、下半期のサポートグループ活動報告

- (2) 家庭教育周知用チラシの配布(年1回)

サポートグループの紹介や事業連携について掲載したチラシを市内教育施設や児童関係施設へ配布

- (3) 利用者支援事業相談窓口の周知(随時)

学習会等の実施時に、子育て支援課が実施している相談窓口の紹介



(広報活動)

#### ● 親子体験型学習会

- (1) 『親子でまなそび(MANASOBI)チャレンジ』

遊びの中に学びを取り入れることで、参加する保護者の悩み解消や子どもの興味関心を高める。

- (2) 『親子で調理実習』(調理実績:鯛めし・お菓子づくりなど)

保護者向け食育講座、伊予市産の食材を用いた調理実習



(食育学習)

### <特色ある取組>

#### ● 各施設の要望に対応した『学習シート』で学習会の実施！

保育所や幼稚園などと実施に向けた事前に打合せにおいて、当該施設を利用する保護者がどのような悩みを抱えているのかを聞き取り、解決のきっかけづくりとして学習会を実施している。  
施設ごとに学習シートをA3サイズで自作し、1時間程度の時間で十分意見交換ができることを想定している。

作成に当たっては、愛媛県が作成した「えひめ家庭教育応援学習プログラム」の内容を活用している。



(手作りの学習シート)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 未実施だった施設・地域での実施することができ、活動地域を拡大することができた。
- 公民館と連携することで、愛媛県が推進する公民館版SDGs5番目の「家庭教育支援」の達成のため、良い関係性を構築できた。

### 【課題】

- 事業実施が叶っていない公民館があるため、連携できるよう準備を進めたい。
- 担当職員が行っている打ち合わせ・企画立案・資料作成・スタッフの派遣調整等を、スタッフが行うことができる体制づくりを目指したい。

# 子育て学習支援事業【砥部町】

～学校での学習会を通じた家庭教育力の活性化を目指して～

## ◆活動の目的・理念

- 小中学生の保護者が参加する参観日などを活用した学習会を開催することにより、家庭教育に関心の少ない親なども含め、より多くの保護者に働きかけ、家庭教育について考える機会を提供し、家庭教育力の活性化を推進する。

|             |                |                |                      |            |           |      |     |
|-------------|----------------|----------------|----------------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点        | —              | 講座・学習<br>会開催数  | 4 回                  | 相談対応<br>件数 | — 件       | 訪問活動 | — 件 |
| 広報活動        | — 回            | 連携・協力<br>団体・機関 | 小学校3校、中学校1校、各小中学校PTA |            |           |      |     |
| チーム<br>スタッフ | 地域コーディネーター     | 0 名            | 子育てサポーター・リーダー        | 0 名        | 民生委員・児童委員 | 0 名  |     |
|             | 元教職員           | 0 名            | PTA役員                | 0 名        | 保健師       | 0 名  |     |
| 計 0 名       | 心理士・スクールカウンセラー | 0 名            | 支援団体・NPO関係者          | 0 名        | その他       | 0 名  |     |

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ● 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座

- ・小学校の児童と保護者を対象とした講座
- ・各小学校単位で実施

麻生小学校 演題:平和について、命について家族で話をしよう  
講師:愛媛大学法文学部非常勤講師 中矢 匡 氏  
宮内小学校 演題:大自然について家族で話をしよう  
講師:自然写真家 松本 紀夫 氏  
砥部小学校 演題:誰にでもあるアンコンシャスバイアスに気付こう  
講師:「まなのき」代表 石井 真奈 氏



(麻生小学校での様子)

#### ● 中学校での参観日を活用した子育て学習講座

砥部中学校 演題:平和について、命について家族で話をしよう  
講師:愛媛大学法文学部非常勤講師 中矢 匡 氏

### 保護者の感想

- ・今の生活は必然ではないということ、自分に何ができるのかを考えさせられる講座でした。家庭で子どもたちと色々な話をしてみようと思います。  
(麻生小学校「平和について、命について家族で話をしよう」)

### <特色ある取組>

#### ● 誰にでもあるアンコンシャスバイアスに気付こう

砥部小学校で実施した子育て学習講座では、松山市で研修・コンサルティング業務を行っている「まなのき」代表であり、アンコンシャスバイアス研究所認定トレーナーの石井真奈氏に講演をしていただいた。小集団で話し合う時間を設けるなど、アンコンシャスバイアス(無意識な思い込み)に気付くことにより、家庭教育について見つめ直す機会となった。



(砥部小学校での様子)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 学校の参観日等に合わせて学習会を実施することでより多くの保護者に参加してもらうことができた。
- 講座とあわせて家庭での話し合いを促すことで、家庭教育について考えるきっかけづくりとなった。

### 【課題】

- 保護者のニーズを把握し、課題解決につながるような講座内容を計画すること。
- 家庭教育に関心が低い家庭や困難を抱えている家庭へ効果的な取組を行っていく必要がある。

# 久万高原Happyサポート【久万高原町】

～気持ちに寄り添うやさしい子育て支援～

## ◆活動の目的・理念

- 誰もが気軽に利用でき、ほっとひと息できる場所づくり
- リラックスできる環境のなかで、さり気なくかわっていき支援
- 日々の生活のなかで、わかりやすくやさしい支援

|        |                           |                |                                                         |            |           |      |      |
|--------|---------------------------|----------------|---------------------------------------------------------|------------|-----------|------|------|
| 活動拠点   | 地域子育て支援センター<br>HappyHouse | 講座・学習<br>会開催数  | 16 回                                                    | 相談対応<br>件数 | 43 件      | 訪問活動 | 20 件 |
| 広報活動   | 15 回                      | 連携・協力<br>団体・機関 | 幼保連携型こども園1、児童館1、幼稚園9園、小学校9校、中学校2校、保健センター1、つどいの広場1、高等学校1 |            |           |      |      |
| チーム    | 地域コーディネーター                | 1 名            | 子育てサポーター・リーダー                                           | 2 名        | 民生委員・児童委員 | 名    |      |
| スタッフ   | 元教職員                      | 1 名            | PTA役員                                                   | 名          | 保健師       | 1 名  |      |
| 計 17 名 | 心理士・スクールカウンセラー            | 1 名            | 支援団体・NPO関係者                                             | 名          | その他       | 11 名 |      |

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- 子育て情報発信
  - ・子育て通信「キラリ」発行 町内全戸に子育て情報発信
  - ・育和会だより及び育和会ホームページに子育て情報掲載
- 学習会「Happyカフェ」開催
  - ・子育て講座、Happy子育てトーク、カルチャーレッスン等
- 子育て相談実施
  - ・Happy HouseおよびNIKONIKO館(児童館)での相談
  - ・小中学校での出張相談
- 保健センターとの連携
  - ・療育教室、療育相談(発達障害など気になる子への対応)
- 子育てサロンでの交流
  - ・ふれあい広場参加 遊びの提供
  - ・つどいの広場訪問 託児支援 仲間作りの応援
- すくすくday(身長体重測定 健康相談 誕生祝い)
- 先輩ママ・パパの会(中高生保護者向け子育て講座)



(「先輩ママ・パパの会」  
お話会)



(「すくすくday」  
保健師による健康相談)

### 保護者の感想

家に子どもと二人だけでいると、大人と話すこともなく一日過ぎる。親子で出かけられ、楽しめる場所があつてうれしい。また、子どものことで気になるところがあると、気軽に相談できる。

### <特色ある取組>

#### ● 「子育て何でも相談日」～小中学校での出張相談～

町内8校の小中学校で、出張子育て相談を行った。参観日に学校の一室を借りて、リラックスして気軽に話せるように、カフェや子育て本など用意した。保護者からは、「こんなふうにご子育てについて話す場所があつてうれしいです。ぜひ、次回もやってほしい。」「久しぶりに先生たちと話せてうれしかったです。」などの嬉しい声をいただいた。また、保護者同士の気軽なおしゃべりから、SNSやスマホの使い方、進路や学習、友人関係などの悩みについて話される方もあり、保護者同士も情報交換できる場となったようだ。今後も町内小中学校と連携して、学校訪問を行っていきたい。



(学校訪問の様子)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 小中学校への学校訪問を再開し、町内8校で参観日などに子育て相談をすることができた。
- 中高生の保護者向けに年間3回程度、子育て講座を行った。思春期を迎えたわが子への対応など保護者同士の情報交換ができ、「次回も参加したい。」という声を聞くことができた。

### 【課題】

- 社会の変化により、地域とのつながりが少なくなった保護者と子どもが多いように感じている。地域の方々と子育て家庭をつなぐような活動の工夫が必要である。
- 子育て家庭のニーズに合った活動内容を企画し、保護者と子どもの気持ちに寄り添う支援をしていきたい。

# 大洲子育てサポート“そよ風”【大洲市】

～ とともに子育て！ いまから ここから ～

## ◆活動の目的・理念

- 乳幼児から思春期までの子育てに関する保護者の悩みや課題について、相談等を通して必要な支援を行う。
- 相談に応じて関係機関と連携し、協働的・包括的な支援を行う。
- 情報紙(そよ風通信)や学習会を通して、子育てを考え、共に学び合う学習の機会を提供する。

|             |                |                |                                                                             |            |           |      |       |
|-------------|----------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|------|-------|
| 活動拠点        | 大洲市アフタースクールおおず | 講座・学習<br>会開催数  | 26 回                                                                        | 相談対応<br>件数 | 150 件     | 訪問活動 | 110 件 |
| 広報活動        | 11 回           | 連携・協力<br>団体・機関 | 認定こども園8、保育所9、幼稚園4、小学校12、中学校8、公民館23<br>児童館3、保健センター、子育て支援センター、子育て支援課、こども発達支援室 |            |           |      |       |
| チーム<br>スタッフ | 地域コーディネーター     | 0 名            | 子育てサポーターリーダー                                                                | 0 名        | 民生委員・児童委員 | 0 名  |       |
|             | 元教職員           | 3 名            | PTA役員                                                                       | 0 名        | 保健師       | 0 名  |       |
| 計 6 名       | 心理士・スクールカウンセラー | 2 名            | 支援団体・NPO関係者                                                                 | 0 名        | その他       | 1 名  |       |

## 取組の概要

### ＜主な取組内容＞

#### ● 利用しやすい相談対応

- ・毎週月・火・木・金 9:00～16:00に電話相談・来所相談・訪問相談を行う。
- ・相談者の要望に応じて、場所や時間を設定し、柔軟な相談対応を行っている。
- ・児童館での子育て広場の後、個別の相談対応も行っている。
- ・相談内容によっては、学校やその他の関係機関と連携して支援を行う。



(子育て学習会:小学校)

#### ● 子育てを応援する学習会の開催

- ・子育て広場(児童館3か所)において、絵本の読み聞かせや子育てに関する講話、グループトークを行っている。
- ・子育て学習会(保育所・小学校)や外部機関・団体の研修会に講師として参加し、参加体験型の活動を取り入れ、楽しみながらも、保護者自身の気づきを促すような学習の場を設定している。



(子育て広場:児童館)

### 保護者の感想(子育て広場・子育て学習会について)

- ・市外から引っ越してきた親にとって地域や子育てについていろいろな情報交換ができた。
- ・子育てについて一人で悩むのではなく、みんな同じような悩みを持っていることを知ることができ、安心した。
- ・小学校入学前の心構えや子どもとのコミュニケーションの取り方について知ることができた。

#### ● 子育てに役立つ情報提供

- ・情報誌「そよ風通信」の発行。毎月1回4,550部発行。市内の保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校・その他関係機関に配布している。
- ・大洲市HPに「そよ風通信」を掲載し、いつでも閲覧できるようにしている。
- ・孤立しがちな保護者、要支援の保護者にも定期的に届く支援の一つとなっている。

### ＜特色ある取組＞

#### ● 学校・他機関との連携

- ・児童生徒の多様な問題を保護者や学校等と連携して、包括的な支援に努めた。

#### ● 就学時検診の場を利用して子育て学習会を実施

- ・就学時検診時に「小学校入学に向けて準備しておくこと」のテーマで子育て学習会を行った。グループトークを取り入れることにより、不安や悩みの軽減につながった。

#### ● 市教委・家庭相談員との定期的な連絡会

- ・当サポートの状況(講座・通信・相談)及び活動の方針、事例検討等の会議を定期的に行っている。活動の広がりを推進し、運営上の問題解消、情報の共有に役立っている。

#### ● 企業訪問の実施

- ・アウトリーチ型の家庭教育支援の一つとして、定期的な訪問相談を行った。

#### ● 手作り通信

- ・読んでもらえる紙面を目指し、チームスタッフ全員が協力して通信作成・印刷・配布をしている。

## 事業を実施して

### 【成果】

- 通信発行や子育て広場・子育て学習会の開催により、保護者に分かりやすい家庭教育支援に努めた。
- いじめ・不登校の相談等、子どもを取り巻く様々な問題を家庭・学校と連携して解決を図ることができた。
- 企業への訪問相談を定期的実施することで、働いている保護者の支援ができた。

### 【課題】

- SNS等を活用した相談活動の実施、HPの開設による活動の周知などが今後の課題である。
- コロナ感染前の日常生活に戻りつつあるが、活動内容の見直しが必要である。
- チームの独自性を打ち出し、家庭教育支チームの強みを生かした活動に努める。

# せいよ家庭教育・子育て応援グループ【西予市】

## ～親子共育を支える地域力として～

### ◆活動の目的・理念

- 家庭における教育力の重要性の啓発・底上げ及び保護者の抱える問題に寄り添い対応する。
- 学校や行政関係各課との連携を密にし、社会・家庭・学校のニーズに対応したグループづくりに努める。
- 無理なく息の長い活動を目指す。

|             |                |                |                                                                       |            |           |      |     |
|-------------|----------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点        | 西予市教育保健センター    | 講座・学習<br>会開催数  | 6 回                                                                   | 相談対応<br>件数 | 0 件       | 訪問活動 | 2 件 |
| 広報活動        | 4 回            | 連携・協力<br>団体・機関 | 市内保育所(認定こども園)、幼稚園、小・中学校、図書館、地域づくり活動センター、児童館、学校教育課、福祉課、健康づくり推進課、子育て支援課 |            |           |      |     |
| チーム<br>スタッフ | 地域コーディネーター     | 1 名            | 子育てサポーター・リーダー                                                         | 0 名        | 民生委員・児童委員 | 0 名  |     |
|             | 元教職員           | 3 名            | PTA役員                                                                 | 0 名        | 保健師       | 1 名  |     |
| 計 11 名      | 心理士・スクールカウンセラー | 0 名            | 支援団体・NPO関係者                                                           | 0 名        | その他       | 6 名  |     |

### 取組の概要

#### <主な取組内容>

##### ● 子育て・親育ち学習会の開催

「家庭での過ごし方みんなはどうしてる?」と題し、保護者を対象にデジタル機器と健康との関わりについて保健師の講話を通して学習した後、グループトークを行い、テレビやゲームに関する困りごとや工夫していることについて情報交換を行った。後半は、ダンスの先生の指導の下、おうちでも楽しむことができるエクササイズで親子一緒に体をほぐし、リフレッシュすることができた。

##### ● 必要な支援へとつなぐ子育て相談の実施

電話相談は平日の9:00～17:00に受付対応。要望があれば学校への出前相談を行う。

##### ● 子育て交流サロンの開催

保護者が子育てについての喜びや悩みなどを気軽に情報交換できる交流の場を提供する。

##### ● 『親の力』をまなびあう会』の開催

保護者と共に学び合い、気付きを共有することを目的として開催。特に、保護者同士の話し合いを大切に、そこから得られる共感や安心感、ヒントやアイデアを共有することを目標としている。

##### ● 親子参加型イベントの開催

親子・参加者同士のコミュニケーションを図ると共に、気軽に家庭教育について話し合える機会として山あそびやトランポリンを実施。

##### ● 子育て応援情報紙「わくわくステーション」の発行

子育て等に関する情報、「親子共育」をテーマにした子育て中の保護者の声、活動内容などを記事にし、市内の保育所、幼稚園、小中学校を通じて配布。



(親の力をまなびあう会)

#### 保護者の感想

普段、ゲームばかりして過ごしているので、こういうイベントに参加させることができて良かったです。私も仕事は座ってする作業なので、運動も兼ねつつ、自然に関するゲームも親子でできて楽しかったです。

#### <特色ある取組>

##### ● 親子交流イベント「自然探検♪やまであそぼう!」

自然体験を通して心身の発達を促し、また、親子の交流を図ると共に、子育ての仲間づくりや気軽に家庭教育について話し合える機会を提供する。市内の城跡(山城)を会場に、落ち葉や木の実などの自然を観察したり、講師によるネイチャーゲームをしたりして自然に触れることができた。お昼の時間には、参加者同士でお弁当を食べたり、講師による手作りのブランコやハンモックで遊んだりして交流を深めることができた。また、登山前には、講師による黒瀬城跡の説明があり、地域の歴史に触れる機会にもなった。



(ネイチャーゲームの様子)

### 事業を実施して

#### 【成果】

- 親子交流イベントは、普段なかなか体験できない内容となっており、参加者に好評で、イベントとして定着している。
- イベントや学習会を通して、参加者同士が子育ての不安や悩みを共有しつつ、課題解決に向けた話し合いをする機会を提供することができた。

#### 【課題】

- 家庭教育の推進をより意識したイベントの工夫
- 保護者のニーズに合った活動の見直し
- 相談に対応するためのスキル向上、人材の確保

# 宇和島市家庭教育支援チーム【宇和島市】

～大きくなあれ うわじまっ子～

## ◆活動の目的・理念

- 地域の実態を把握し、子育て中の保護者とパートナーシップをとりながら、豊かな人間関係が持てるようにする。
- 身近な環境や人材を生かし、様々な活動を通して保護者の悩みを引き出し解決の支援をする。

|             |                |                |                              |            |           |      |     |
|-------------|----------------|----------------|------------------------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点        | 宇和島市教育委員会      | 講座・学習<br>会開催数  | 18 回                         | 相談対応<br>件数 | 0 件       | 訪問活動 | 0 件 |
| 広報活動        | 1 回            | 連携・協力<br>団体・機関 | 市内保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、公民館 |            |           |      |     |
| チーム<br>スタッフ | 地域コーディネーター     | 0 名            | 子育てサポーター・リーダー                | 2 名        | 民生委員・児童委員 | 4 名  |     |
|             | 元教職員           | 4 名            | PTA役員                        | 0 名        | 保健師       | 0 名  |     |
| 計 16 名      | 心理士・スクールカウンセラー | 1 名            | 支援団体・NPO関係者                  | 0 名        | その他       | 5 名  |     |

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ● 親の子育てを応援する学習会の開催

市内の保育園、幼稚園、小学校の参観日など保護者が集まる機会に、学びや体験を提供。



(ミュージック・ケア)



(愛着障がいについて)



(親子での工作)

#### ● 月に一度の定例会を開催

子育て学習会で気になったことや、保護者からの意見を共有。  
スクールソーシャルワーカーや、子育てコーディネーターとの意見交換を行う。

#### ● 相談活動

相談窓口を設け、関係機関につなぐことで包括的な支援を行っている。(令和5年度は実績なし)

### 保護者の感想

- ・他の親子と交流でき、情報交換ができて良かった。
- ・子育てについて不安に思っていたが、お話を聞いてそれでいいのだと感ずることができた。
- ・今回行った新聞遊びは家でもやってみたい。

### <特色ある取組>

#### ● チーム員による市内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校への広報活動

広報紙配布については情報交換のためや信頼関係を築くために手渡しにこだわっている。  
情報交換を行う中で出てきた意見は、家庭教育支援事業の充実に効果を上げている。

## 事業を実施して

### 【成果】

(子育て学習会について)

- 共働き世帯の増加で子どもと過ごす時間の確保が難しくなっている現代において、子どもの発育を促す触れ合い方や、子育て情報を提供することができた。
- 家庭で実践できることも多く、多くの反響をいただいた。

### 【課題】

(子育て学習会について)

- 令和5年度は学習会の申し込みに偏りがあり、開催されなかったものがあった。より様々な内容の学習会が開催されるよう工夫する必要がある。